

2023年JR北上線関連イベントまとめ



JR北上線全線開通100周年を目前に、西和賀町では今年8月にJR北上線の未来を考えるシンポジウムの開催を始めとする様々な関連イベント・キャンペーンが行われ、当協会も協力させていただきました。

8月20日(日) JR北上線とまちづくりを考えるシンポジウム

西和賀町文化創造館銀河ホールにて行われ、トークリレーに登壇した高鷹政明会長は「住民の足としてのスタンスが議論の中心で、施策もその分野だった実情から、観光客の北上線の利用を考える大きなターニングポイントとしたい。特にインバウンドの増加は国の施策としても推進しており、『FIT(インバウンドにおける個人旅行の増加)』は、東京・仙台方面から秋田へ繋げる重要ルートである可能性が高い」と語りました。



高鷹政明会長

当協会公認アドバイザー・広瀬雄大氏(NISHIWAGA STYLE)は、JR北上線利用促進協議会が進める「JR北上線魅力化プロモーション事業」の紹介として、沿線3市町やJRとの連携を通して行われる魅力化推進の第1弾となる「北上線を知っていただく」施策を披露しました。

現在は、JR北上線のポータルサイト発信に向けて、素材となる写真や動画の制作が進められています。



広瀬雄大アドバイザー

10月26日(木) JR北上線無料乗車票配布

湯夢プラザ内で実施した「JR北上線無料乗車票」配布では、特設窓口を観光案内所隣に設置し、お客様をお迎えしました。

開始時刻の午前9時から非常に盛況となり、その日のうちに配布を一時終了する等、JR北上線への関心の高さが窺われました。



湯夢プラザ特設窓口

11月9日(木)～11月12日(日) 無料乗車期間

無料乗車期間中は、観光案内所にも多くのお客様がお越しくれました。

ほっとゆだ駅前前で11月11日(土)及び12日(日)に開催された「JR北上線全線開通100周年イベント 湯ったりまつり」では、ステージイベントや出店で賑わう2日間となりました。

また、JR北上線利用者様のお出迎えやお見送りに、高鷹会長と当協会事務局員が参加しました。



湯ったりまつりチラシ

観光協会 インフォメーション

町外写真・雪あかりポスター展開催決定!

町内で撮影された冬の風景写真と、2024年の雪あかりポスターを展示します!

〈展示期間〉12月20日(水)～
令和6年2月8日(木)

〈会場〉JR盛岡駅南北自由通路(わんこロード)

スノーシューレンタル開始!

スノーシュー・ヘルメット・ゴーグルの3点セットです。

〈料金/利用時間〉500円/9:00～17:00

〈貸出期間〉12月下旬～令和6年3月中旬

〈受付〉湯夢プラザ内観光案内所

TEL:0197-81-1135

年末年始の営業について

湯夢プラザ内観光案内所は、12月30日(土)～令和6年1月2日(火)を休業期間とさせていただきます。

ユキノチカラプロジェクト協議会

—豪雪を町の力に変える「ユキノチカラ」—



2015年に西和賀町の地域ブランド「ユキノチカラ」を創設。地域資源を活かした商品開発をはじめとして、販売活動やPR、イベントなどをおこなってきました。

2019年からは町内事業者で協議会を結成し活動しています。

昨年度から、西和賀高校と協働して「魅力発見ラボ」を開始、今年度からは西和賀町ふるさと納税のPRも担当し、西和賀町の魅力を多角的に情報発信しています。



ユキノチカラ商品

ホームページ



Instagram



ユキノチカラ

検索

北上信用金庫西和賀支店

—地域に寄り添う信用金庫—



北上信用金庫西和賀支店は地域の皆様に支えていただき、昨年6月に支店開設60周年を迎えることができました。改めまして、御礼申し上げます。

当支店は地域密着の金融機関として、地域ブランド「ユキノチカラ」への支援や各イベントへのボランティア活動などを通じ、地域活性化に向けて皆様とともに取り組んで参りたいと思います。

皆様の生活、事業をお手伝いするため、各種商品を取り揃えておりますので、お気軽にご相談ください。



交通安全ボランティア

【住所】西和賀町川尻40-40-50

【電話】0197-82-2220

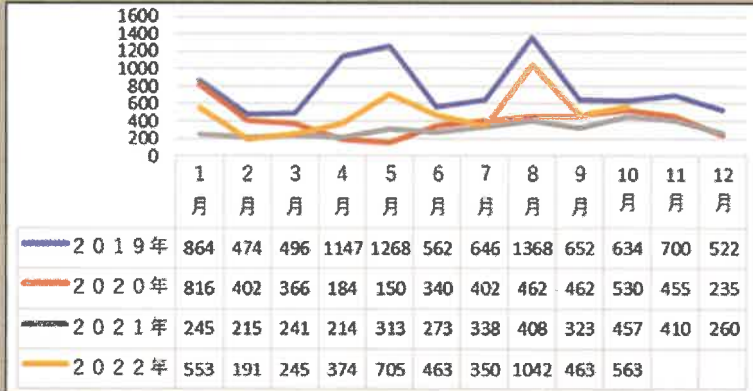
【窓口営業時間】

平日 午前の部 9:00～11:30
午後の部 12:30～15:00

北上信用金庫

検索

図1 RESAS滞在人口年間推移(休日1日当たりの月間平均人数)



年間推移データを読み解く

西和賀町来訪客の実態

2022年10月の傾向
県外から西和賀町へ訪れた人は、コロナ前の約89%で、解説します。

当協会では、町の滞在人口などの観光分析に「地域経済分析システム(RESAS)」を活用しております。

今回は、2019年の新型コロナウイルス感染症流行前から、水際対策が緩和され始めた2022年10月にかけてのRESASデータから分かる町来訪客の推移を、当協会公認アドバイザー・広瀬雄大氏が解説します。

県外→西和賀へ訪れる人の居住地ランキング

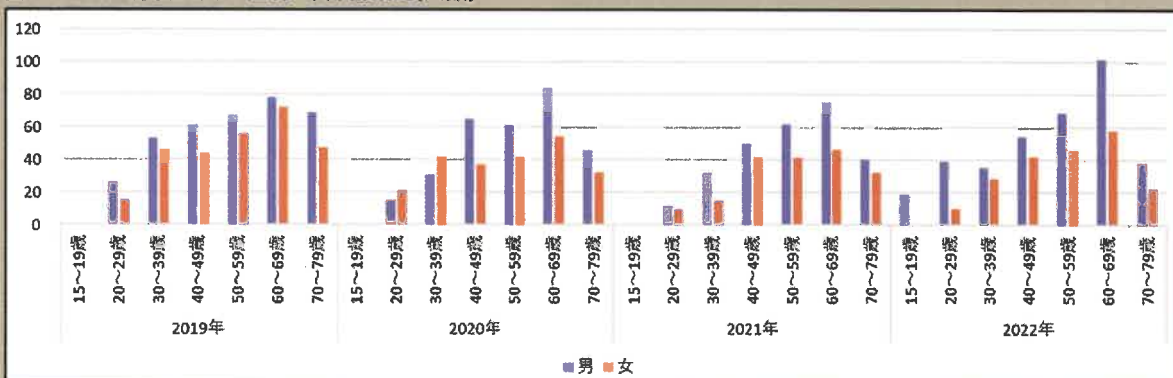
	2019年	2020年	2021年	2022年
1位	秋田県	秋田県	秋田県	秋田県
2位	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
3位	東京都	東京都	東京都	東京都
4位	広島県	青森県		山形県
5位	静岡県			埼玉県

2020年とほぼ同数。性別・年齢構成比では50代、60代の男性層はコロナ前、コロナ禍、コロナ後でも同数、または増加傾向にある。2022年のグラフを見ると、60代男性層が大幅に伸びていると分かる。

70代以上の来訪者が減ってきている!!

一方で70代の男女はコロナ前(2019年)より年々減少している。コロナ前と比べ、外出をしない方の増加、またはコロナ前は70代だった方が70代後半となり、移動範囲が狭まったことで西和賀町に来られない可能性もある。また、秋に多くの人が

図2 RESAS滞在人口 性別・年齢構成比(人数)



訪れているイメージはあるが、5月や8月の滞在人口と比較すると、実際はそこまで多くない実態も見える。

